



— 太古の妙義は海の中 —

妙義の海には
クジラがたくさん泳いでた!

今ではす、かり海とは無縁のように思われる群馬県。お山の
てっぺんまで登っても見えるのは山・山・山。海なんてどこに

あるの? っ? ...あったのです。むしろそう。

太古の群馬は
海だったのです!!!

妙義を含む富岡市

の平野には富岡層と呼ば

れる地層があります。この地層は約

1650万年~数100万年前の地層で、

海の底に石や泥が積もってでき

たのです。ウミノソコ!!!

ココウミ!!!

ウミダッタ!!!



この海の痕跡、富岡層からはたくさん
の海洋生物の化石が見つかり、今も
今立っているこの土地がとて豊かな海だった
ことが分かっています。

ちなみに! 今年5月に発表されたビッグニュースで
す、妙義山の北東を流れる碓氷川沿いから発掘
されたヨウスコウカワイルカ科の化石、約1100万年前の

世界最古の化石であったことが分かったのです!!! おまけに**新種**でした。ギャー

(*Eolipotes japonicus* と名付けられたよ!) 碓氷川沿いでは他にもクジラ、サメ、ウニ、サケ、貝など

たくさんの海洋生物の化石が見つかり、特にクジラ化石に関しては群馬県立自然史博物館に

収蔵されているクジラ化石は1点を除きすべて同所から発掘されたものとのこと。Under the sea!

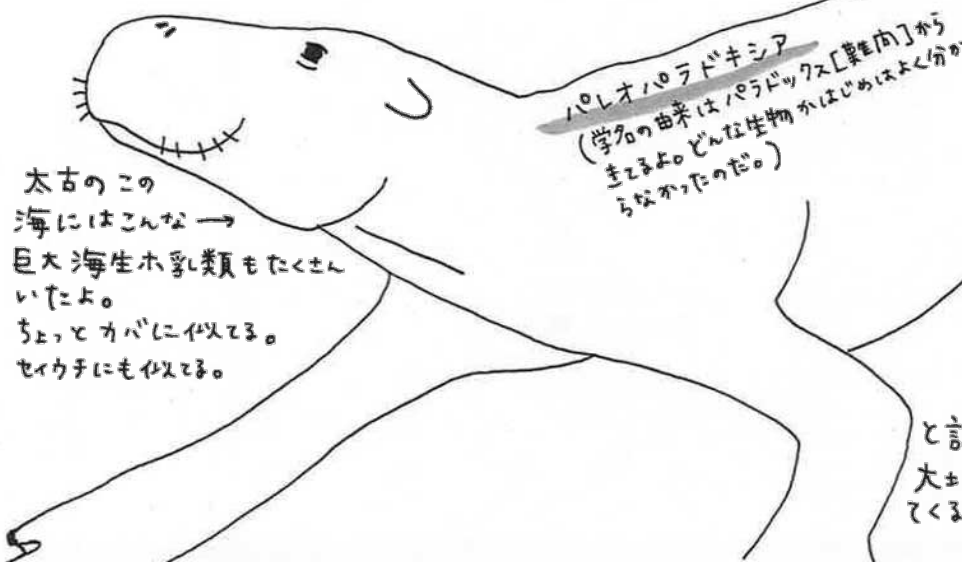
ま、ここまでくればそろそろ皆さんも妙義が海に見えてきたでしょう?



ちなみに、
妙義山が大きな要因と
なった火山活動はこの

海がだんだん上がって
きて、ギリギリ
妙義が陸地
になった頃だ

とされています。
大地の歴史がずいぶん見え
てくる、妙義の大地! 拜



太古のこの
海にはこんな
巨大海生ホウ類もたくさん
いたよ。
ちょっとオバに似てる。
セイウチにも似てる。

パレオノラドキシア
(学名の由来はパラドックス[難問]から
きてるよ。どんな生物かはじめはよく分か
らなかったのだ。)